

市の助言内容と申出者の意見

市の助言	申出者の意見
1 高層部のデザインについて	
<p>札幌景観資産第18号「北海湯」（以下「北海湯」という。）の北東側から見え方に配慮し、本計画建築物が背景となることを考慮したデザインとすることは重要な視点ですが、採用する意匠を極端に簡素にするとかえって裏側の印象が強くなって、配慮が感じられないデザインとなるおそれがあります。本計画建築物の東側立面が北海湯の背景として良好な景観に寄与するよう、例えば、北側立面の意匠を東側立面にも一部取り入れるなど、外観全体のバランスを図りつつ、背景として有効なデザインを検討してください。</p>	<p>意見を踏まえ、北西面の低層階及び高層階のデザイン要素の一部を東面外観に取り入れ、デザイン全体の統一を図りながら、景観資産の背景として調和のある景観を形成する方向で検討をいたします。</p>
2 ヒューマンスケールの見え方について	
<p>歩行者からの目線では、本計画建築物と北海湯だけではなく、計画敷地内の舗装やみどりなどの要素も一体となって見えることを考慮し、以下の点について検討してください。</p>	
(1)	<p>エントランス周りに設けるみどりは、本計画建築物と北海湯の間の緩衝としての役割を担うことから、ボリュームのあるみどりを積極的に活用するよう検討してください。</p>
(2)	<p>付帯工作物は隣接する景観資産と景観を含めた双方の影響を考慮し、計画をいたします。</p>
(3)	<p>サービスアプローチ側の舗装について、既存の景観に配慮し、単なるバックヤードとみえないよう色調等を検討いたします。</p>
3 元村街道（ななめ通り）側の見え方について	
<p>通りの景観の向上に寄与するよう、引き続き、駐車場ゲートと駐車場棟の外壁の素材や色味について検討してください。</p>	<p>みどり豊かで潤いのある景観形成を目指し、今後の通りの景観の指針となるよう質の高いデザインを目標とします。景観形成方針として掲げた「古さと新しさの共存」を図るべく、材料の素材感や色彩計画を検討いたします。</p>